

ひばり

東国分爽風学園 市川市立稲越小学校

〒272-0831 市川市稲越 3-21-8 Tel 373-8401

<https://ichikawa-school.ed.jp/inagoshi-sho/>

お礼

校長 吉田 直美

前号のひばり No.7 号において、学校評価回答のお願いをさせていただきましたところ、おかげさまで、児童数 221 名に対し 177 名（80.0%）の回答をいただくことができました。これは、2 年前にオンライン回答に変更してから過去最高の回答率となります。（以前の紙による回答の時のほうが回答率は高かったです）ご協力をいただき感謝申し上げます。ありがとうございました。本校のように、児童数の少ない学校においては、児童数の多い学校と比べると 1 名の回答の増減による割合が大きいいため、一人でも多くの方にご回答していただくことが、より正確な数値となって、学校運営への確かな改善につながっていきます。後期は 12 月に第 2 回目の学校評価を実施いたします。回答率 90% を目標にしております。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

調べる力は好奇心に火がつくことがスタートです

学校評価に「お子さんはわからないことを進んで調べようとする」という項目があります。この項目は、本校だけでなく、市川市全体で、他の項目と比べて肯定的評価が低い傾向にあります。そこで少しでも子供たちの興味関心が高まるよう、校長室前には、様々な仕掛けをしているところです。その一つに、学校敷地内にある木の実を展示し、その正体を当てるという問題を提供しました。毎日一つずつヒントを増やしていきました。正解は「椿」なのですが、その正解もあえて漢字で書き、その読み方も学んでほしいという私の思いもありました。

ある日、学校司書の高橋先生が「校長先生、ヒントを見て図書室に調べに来た子がいましたよ！」と報告してくれました。好奇心があれば、そうやって自分で調べようとするものなのです。またある子は「校長先生、調べてみたら、図鑑にも校長先生の書いたヒントと同じことが書いてあったよ」と嬉しそうな顔で話してくれました。

一人でも二人でも、何かに好奇心を持って「もっと知りたい！わかりたい！」と思える子が増えてくれたら本当にうれしいです。それは、学校の学習に限らず、自分に興味のあることなら何でもいいと思います。そして何を使って調べるかということも、それぞれ違うと思います。書物で調べるだけでなく人に尋ねる等、様々な手段を使うことも大切です。夏休みに何か一つでも興味関心を持てるものがあれば、ぜひ協力してあげてください。「好奇心に火をつけろ」を合言葉に進めていきましょう。

4 月から 3 か月半、稲越小学校の教育にご理解ご協力をいただき、本当にありがとうございました。9 月からも、221 名の素敵な子供たちのために教職員一同全力で取り組みます。